

## 令和5年度事業計画書

### 1 会員増強と活動資金募集

日本赤十字社は会員をもって組織される法人であり、会員及び協力会員の納入する活動資金によって事業を実施している。

#### (1) 活動資金の募集

##### ア 令和5年度目標額

区 分	一般活動資金目標額(円)	法人活動資金目標額(円)	目標額合計(円)
支 部 全 体	799,000,000	293,000,000	1,092,000,000

##### イ 岡崎市地区目標額

年 度	一般活動資金目標額(円)	法人活動資金目標額(円)	目標額合計(円)
令和5年	26,970,000	400,000	27,370,000
令和4年	26,920,000	400,000	27,320,000
比 較 額	50,000	0	50,000

※ 法人社資の募集は県支部が行う。

### 2 災害救護

災害救護業務は、日本赤十字社法に明示された赤十字の最も重要な業務である。

また、災害救助法において国又は都道府県知事の行う救助業務に対する協力が義務付けられさらに災害対策基本法及び大規模地震対策特別措置法においても指定公共機関として防災に関する各種計画とその実施の責任を課せられている。

#### (1) 救援物資の配分と弔慰金の贈呈

風水害や火災などにより被災された世帯を対象に救援物資を配布し、また不幸にして死亡された方の遺族には弔慰金を贈る。

##### 災害救援物資配分基準表

災害区分	被害状況	品 目		弔 慰 金
		毛 布	緊急セット	
火 災	全 焼	1人2枚	1世帯1個	遺族に対し、 死亡者1人につき 1万円支給。
	半 焼	1人1枚		
自然災害	全壊・流出・半壊・床上浸水・避難所に避難した世帯	1人1枚		

#### (2) 救護装備の整備

##### ア 救護資材配備3カ年計画(令和4年度～令和6年度)

令和5年度は、携帯トイレセット11個、蓄電池1個、エアーマットセット23個、気化式冷風機1台の支給を愛知県支部から受ける。

##### イ 社協ボランティアセンターの災害用資材の配備

令和元年度からは、岡崎市社会福祉協議会が設置するボランティアセンターが迅速な対応を開始できるよう社協と必要資材、数量を調整しながら配備する。

#### (3) 救護訓練

ア 岡崎市が実施する地域総合防災訓練に岡崎市赤十字奉仕団の参加を要請する。

イ 地域・学区での防災訓練に移動炊飯器等の貸し出しを行う。

ウ 炊飯袋(ハイゼックス)による炊き出しの普及を図る。

### 3 血液事業

血液事業は災害救護と並ぶ赤十字事業の柱であるが、今後の人口動態を考慮すると献血可能人口の減少は避けられない状況にある。

しかし昨今若年層の献血離れが進んでおり、将来的に医療機関が必要とする血液製剤の供給が危ぶまれる状況が憂慮されている。

今後は若年層に対する啓発を強化し、特に医療現場において需要の高い400ml全血献血及び成分献血の一層の推進を図るため、岡崎地区献血推進協議会と連携して各種広報活動等を行い、広く市民に献血についての理解を求め協力を要請する。

(参考) 愛知県の年齢別献血状況 (令和4年12月末現在)

	16～19歳				20～29歳				30～39歳			
	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率
H30	13,913	113.9%	5.2%	4.6%	45,651	90.7%	17.0%	5.6%	47,499	83.6%	17.7%	5.1%
R1	14,851	106.7%	5.3%	5.0%	46,582	102.0%	16.5%	5.6%	48,943	103.0%	17.3%	5.4%
R2	12,364	83.3%	4.2%	4.2%	45,301	97.3%	15.4%	5.4%	48,907	99.9%	16.7%	5.4%
R3	12,556	101.6%	4.3%	4.4%	45,327	100.1%	15.4%	5.4%	47,005	96.1%	15.9%	5.4%
R4	13,897	110.7%	4.7%	4.9%	46,292	102.1%	15.7%	5.5%	44,265	94.2%	15.0%	5.0%
	40～49歳				50～59歳				60～69歳			
	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率
H30	77,112	92.8%	28.8%	6.6%	63,209	114.5%	23.6%	6.9%	20,758	112.7%	7.7%	2.3%
R1	79,026	102.5%	27.9%	6.8%	69,999	110.7%	24.8%	7.4%	23,348	112.5%	8.3%	2.7%
R2	80,558	101.9%	27.5%	7.1%	79,672	113.8%	27.2%	8.2%	26,515	113.6%	9.0%	3.2%
R3	76,592	95.1%	26.0%	6.9%	84,077	105.5%	28.5%	8.4%	29,482	111.2%	10.0%	3.7%
R4	71,042	92.8%	24.1%	6.6%	87,292	103.8%	29.6%	8.1%	32,516	110.3%	11.0%	4.0%

※ 献血率：人口に対する献血者数の割合

#### (1) 血液確保の計画(地区目標)

##### ア 地区目標

区分	200ml		400ml		成分献血		合計	
	献血者 (人)	構成比 (%)	献血者 (人)	構成比 (%)	献血者 (人)	構成比 (%)	献血者 (人)	構成比 (%)
移動採血	225	3.7	5,840	96.3	—	—	6,065	100.0
献血ルーム	165	1.3	5,423	41.4	7,522	57.4	13,110	100.1
合計	390	2.0	11,263	58.7	7,522	39.2	19,175	99.9

##### イ 県目標

区分	200ml		400ml		成分献血		合計	
	献血者 (人)	構成比 (%)	献血者 (人)	構成比 (%)	献血者 (人)	構成比 (%)	献血者 (人)	構成比 (%)
移動採血	143	3.0	4,699	97.0	—	—	4,842	100.0
献血ルーム	70	0.5	3,410	26.8	9,250	72.7	12,730	100.0
合計	213	1.2	8,109	46.1	9,250	52.6	17,572	99.9

#### (2) 献血推進事業

- ア 愛の血液助け合い運動(7月1日～7月31日)
- イ 愛知県献血運動推進大会(7月)
- ウ 複数回献血キャンペーン(7月～11月)
- エ はたちの献血キャンペーン(1月・2月)
- オ 卒業献血キャンペーン(1月～3月)
- カ 広報資料の配布・掲示(随時)

#### 4 救急法・健康生活支援等の講習

子どもに起こりやすい事故の予防及び手当、かかりやすい病気と看護の仕方などの知識と技術を学ぶ。

- (1) 幼児を守る親子教室の開催(7月・12月)

#### 5 献血啓発DVDの貸出

献血の啓発事業の促進を目的とし、公的機関や地域団体等に対し以下のDVDの無料貸出を行う。

- ・アンパンマンのエキス
- ・ありがとうの手紙
- ・献血まるわかり情報局

#### 6 赤十字奉仕団活動

赤十字奉仕団が日本赤十字社の活動の推進組織であることを再認識し、一層の活動充実を図るとともに、地域的広がりを視野に入れた団員の加入促進を図る。

- (1) 研修会・講習会の実施

赤十字奉仕団基礎研修会（愛知県支部主催）

赤十字奉仕団員として必要な知識及び技術の習得並びに情報交換を行うことにより、指導者の養成を図る。

- (2) 赤十字奉仕団一日講習会

万一の災害・事故に備えて防災講習、炊き出し、AEDを使用した救急法・健康生活支援講習等を受講する。

- (3) 広報宣伝活動の実施

団員募集ちらしを配布し、団員の確保に努める。

- (4) 地域・学区での防災啓発

地域・学区での防災訓練において炊き出し訓練の指導をする。

【参考】 岡崎市赤十字奉仕団の炊出し訓練等の参加予定

愛知県青年の家にて青少年トレセン指導

岡崎市少年自然の家にて小中学生に指導

愛知県青年の家にてJRC指導者実習に参加

#### 7 災害義援金・救援金の受付

- (1) 台風や地震などの自然災害発生に際し、迅速な募金活動を実施する。
- (2) 令和5年5月能登地方地震災害義援金の募金活動（令和5年9月29日まで）
- (3) 2023年トルコ・シリア地震救援金の募金活動（令和5年5月31日まで）
- (4) ウクライナ人道危機救援金の募金活動（令和6年3月31日まで）
- (5) アフガニスタン人道危機救援金の募金活動（令和6年3月31日まで）
- (6) バングラデシュ南部避難民救援金の募金活動（令和6年3月31日まで）
- (7) 中東人道危機救援金の募金活動（令和6年3月31日まで）